

あなたは 子宮頸がんの疑いがあると判定されました

細胞診検査において、がんの可能性がある異常が認められました

SAMPLE

女性がかかるがんのうち

SAMPLE

5番目に多いのが 子宮がん^{※1}です

まだ若いからがんにはならないと思い込まないで!

SAMPLE

子宮頸がんは、20歳代後半から増え、40歳代で最も多くなります。

SAMPLE

部位別がん罹患数
女性(2023年)

第1位 乳がん

第2位 大腸がん

第3位 肺がん

第4位 胃がん

第5位 **子宮がん**^{※1}

資料:全国がん登録



SAMPLE

SAMPLE

早期発見^{※2}すれば 9割以上^{※3}が治ります^{※4}



※1:子宮がんとは、子宮頸部と子宮体部のがんを示します。

※2:ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類(TNM分類)におけるI期を意味します。

(IV期に近いほどがんが進行している状態)

※3:2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル(純生存率)は94.9%。

※4:ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。

SAMPLE

SAMPLE

速やかに、精密検査を受けてください

精密検査を受ける医療機関については、がん検診を受けた医療機関や市町村にお問い合わせください。

お問い合わせ先

SAMPLE



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



がん検診受診率向上
希望の虹プロジェクト

SAMPLE

SAMPLE